

学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成 ～家庭・地域と連携し最適解を探究する学習活動を通して～

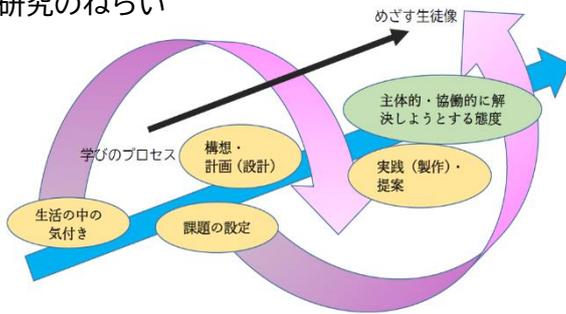
目指す生徒像

持続可能な社会の実現に向けて、生活の中から問題を見つけ、エネルギー変換の技術で学習したことを活用し、主体的・協働的に解決し、よりよい生活や社会を築こうとする生徒

学習計画

学びのプロセス	時間	学習活動
気づき	2	<u>エネルギー変換の技術による問題解決</u> ・生活の中から、エネルギー変換の技術で解決できる問題を見つけよう。 ・課題を発見しよう。
課題設定 構想・計画 実践・提案	8	<u>モビリティの開発</u> ・目的に合ったモビリティを構想しよう。 ・モデルカーを製作しよう。 ・製作したモデルカーを提案しよう。 ・モデルカーを改良しよう。
省察	2	<u>問題解決の評価、改善・修正</u> ・プレゼンテーションを行い、相互評価をしよう。 ・改善・修正するための方法を考えよう。

研究のねらい



家庭・地域との関わりを意識した題材の設定



【2次交通を紹介するプログラム】

駅が新設されたのに、そこからの2次交通が少ないな。

越前市に来てくれた方の目的に合わせられるといいね。

主体的・協働的な学びとなるような学習展開の工夫



【ベースとなるモデルカー】【目的に合ったモデルカーの構想・設計】

自分たちが設定した課題を解決しようと試行錯誤を繰り返すなど協働的な学びに繋がった。

生活を工夫し、創造する能力を育てるための問題解決的な学習の課題



池田町に行くためには急な坂道を登れないとダメだね。

【地域の特徴を踏まえた考察】

モビリティの課題点

- ・全然車が走らなかった。大人数での移動を想定しているのに、おもり(人)がたくさん乗っても長距離の移動ができないようにしたい。
- ・プーリのかけ方をもっと考えたいが、時間がなかった。

授業を振り返って

- ・電気だけで車を走らせることは難しいことがわかった。走りながらタイヤで充電できたり、屋根をソーラーにしたい。
- ・AIやGPSがはってんしているのに、電気自動車とうまく組み合わせるとエコな走りができると思った。

公開授業の見どころ

グループで考えたモデルカーが設定した目的に合致しているか互いに評価し合う活動を展開していきます。グループでさらなる改良を目指して協働的に学びを深める姿にご注目ください。